

二十一年度入試分析&合格速報

■大学入試

二十一年度のセンター入試は、比較的容易だった昨年度に比べ平均点が二〇点ほどダウンしました。従って、強気の出願を避け、全体的に安全志向での出願となりました。また、経済不況の影響で「浪人は許されない」との考えからも地元の国公立人気が強まり、早稲田・慶応など有名私立で軒並み志願者が減少しました。

特にセンター利用入試は、国公立大志願者も手軽に私立大を併願できることで人気を集めてきましたが、一般入試に比べ合格へのボーダーが高まるため、センター入試の点数が思うように伸びなかった今回は、とりわけ出願がダウンしました。

また、国の政策により医学科の定員が10%増加しましたが、出願数は昨年を下回り、医学科志願者にとってはチャンスの年となりました。

順位	平成20年度 5教科900点集計	
	平均点	得点率(%)
1	東京 653.1	72.6
...
29	岡山 581.6	64.6
...
47	岩手 532.7	59.2
	全国平均 594.5	66.1

順位	平均点		得点率(%)
	平均点	得点率(%)	
1	東京 640.8	71.2	
...	
28	岡山 561.2	62.4	
...	
47	島根 514.7	57.2	
	全国平均 573.3	63.7	

■中学入試

ここ数年、志願者増加が著しい状況であった岡山白陵中・岡山中の倍率は、少子化や岡山白陵中の定員増の影響もありやや低下しました。それに伴い、合格最低点もややダウン傾向にあります。しかし、非専願で見ると、岡山白陵中の偏差値は上昇傾向にあり、愛光中・広島学院中を抜いて中四国で最難関となります。

また、県立中高一貫校の志願者数は、岡山操山中で九十四人、倉敷天城中で三十七人の減少となり、こち

中学校	コース 日程	定員	受験者数	合格者数	実質倍率		合格最低点	
					21年度	20年度	21年度	20年度
岡山白陵	専願	160	293	128	2.29	2.62	158/300	170/300
	非専願		914	710	1.29	1.51	173/300	190/300
岡山	東大・国立医 学部コース 専願	35	48	17	2.82	2.93	161/300	161/300
	非専願		384	310	1.24	1.67	175/300	175/300
	難関大コース 専願	125	93	72	1.29	1.38	110/300	120/300
	非専願		1580	1461	1.08	1.11	130/300	140/300
金光学園	専願	180	186	136	1.37	1.43	169/250	150/250
	非専願		232	184	1.26	1.33		
清心	1次A日程	約100	192	165	1.16	1.07	80/200	80/200
	1次B日程		70	65	1.08	1.15	126/300	91/200
	2次		15	8	1.88	1.40	93/200	86/200
岡山操山		120	639	120	5.33	6.11	非公表	非公表
倉敷天城		120	473	120	3.94	4.25	非公表	非公表

主な合格実績

大学名	学部	人数	大学名	学部	人数
岡山 大	教育・農	3	下関市立大	経済	1
香川 大	教育	2	神戸市看護大	看護	1
愛媛 大	工	2	高知 工 科	工	1
鳥根 大	法文	1	昭 和 大	歯	1
鳥取 大	工	1	関 西 大	経済・法	3
鹿児島 大	工	1	関西学院大	文	1
岡山県立大	保健福祉	2	立 命 館	文・理工	4
大阪市立大	商	1	そ の 他	歯他	29

中学名	コース	人数	中学名	コース	人数
岡山白陵中		2	清 心 中		3
岡 山 中	東医	1	岡山操山中		2
	難関大	3	倉敷天城中		1
金光学園中		2	そ の 他		8

高校名	学科	人数	高校名	学科	人数
岡山朝日	普通	3	水島工業	機械	1
岡山操山	普通	4	倉敷商業	商業	3
岡山大安寺	普通	2	玉島商業	ビジネス情報	2
岡山芳泉	普通	3	津山山東	普通	4
岡山一宮	普通	1	津山工業	機械	3
岡山城東	普通	4	津山商業	地域ビジネス	4
西大寺	普通	2	玉野南	普通	2
高松農業	農業科学	2	笠野光南	普通	1
興陽	農業	1	笠岡岡	普通	2
岡山工業	機械	1	笠岡工業	電子機械	1
岡山南	商業	3	笠岡商業	商業	2
倉敷青陵	普通	2	総社南	普通	2
倉敷天城	普通	1	総社久	普通	1
倉敷南	普通	3	勝山山	普通	1
倉敷古城池	普通	3	落合方	普通	2
倉敷中央	普通	2	鴨 谷	総合	2
玉 島	普通	1	和 気	普通	1
倉敷鷺羽	未来創造	2	そ の 他	普通他	12
倉敷工業	機械他	4			

■高校入試

らも倍率が年々低下傾向にあります。二十二年より、岡山大安寺高校を母体として県内の県立中等教育学校が誕生します。県立中学の志願者が分散することで二十二年度はさらに倍率の低下が進むと見られます。

一般入試は、平均競争率一・二二倍で、こちらも前年度(一・二二倍)に比べてダウンしました。問題の傾向としては、全ての教科にわたって基礎、基本の理解が試されることが、思考力や判断力、表現力などが反映される問題が増えました。したがって、暗記や詰め込み中心の受験勉強を行ってきた生徒には戸惑いもあつたようです。

五年目となった自己推薦入試は、平均競争率三・〇五倍で前年度(三・一一倍)に比べてダウンしました。一年生からコツコツと真面目に取り組んできた生徒が内申で評価され、高倍率の中、見事に合格を勝ち取りました。また、適性検査・面接については、各高校が特色のある形態を取っており、過去の出題内容を参考に十分な対策を行った生徒が合格を勝ち取ることができました。

私立高校は、多くの県立志願者が滑り止めで受験する一方、成績上位者が特進コースなどを専願で受験するケースも増えてきました。入学金・授業料の減免制度、面倒見の良さ、さらに、国公立大学の合格実績増加などにより人気を高めています。